



2026年5月14日

フィルム型ペロブスカイト太陽電池を用いた営農型太陽光発電設備 実証実験プロジェクト始動について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、ひまわりグリーンエネルギー株式会社、積水ソーラーフィルム株式会社、株式会社 TERRA、国立大学法人千葉大学とともに、国内で初めて水田にフィルム型ペロブスカイト太陽電池※を用いた営農型太陽光発電設備を、2026年3月に千葉大学柏の葉キャンパスに設置し、同年5月11日に水田で田植えを行い、実証実験が本格始動しましたのでお知らせします。

当行は、5者が連携・共創するフィルム型ペロブスカイト太陽電池を用いた営農型太陽光発電の新たなモデル構築を通じて、「千葉県における地域循環型エネルギーシステムの構築」に寄与することを目指します。千葉県の主要産業である「農業」と千葉県が国内トップシェアを占めるヨウ素を原料とする「ペロブスカイト太陽電池」を結び付け、千葉県の地域資源を再エネ電源へと転換するとともに、持続可能な農業に向けた新たな経営モデルの構築に取り組みます。

当行グループは、「地域まるごと GX」の実現に向けて、ペロブスカイト太陽電池を活用した農業経営モデルの構築および普及促進を行い、千葉県のカーボンニュートラル達成に貢献してまいります。

※ フィルム型ペロブスカイト太陽電池とは、薄くて軽量、曲げられる次世代の太陽電池です。

（ご参考）2026年3月配信リリース

「国内初、フィルム型ペロブスカイト太陽電池を用いた営農型太陽光発電設備の水田での取組みを開始」

https://www.chibabank.co.jp/news/news20260324_01

【田植えセレモニーの様子】



以上